

平成27年12月18日 第18号

やはたの丘

北九州市立八幡特別支援学校
校長 松永寿幸

めっきり冬らしくなり、日が最も短い季節となりました。登下校には、十分に留意されてください。二学期、児童生徒にたくさんの温かい言葉や大きな夢を与えていただいた皆さんを紹介します。

元ソフトバンク・ホークス 柴原洋選手 来校

ちょっと前になりますが、12月1日（火）に元ソフトバンク・ホークスの選手で野球解説者の柴原洋選手が、お忙しい中、ご来校くださり、本校児童生徒と楽しく交流しました。柴原選手からいただいたサイン入りバットやサイン色紙は、玄関前のショーウィンドウに飾っています。サイン色紙には2006年12月14日とあります。サイン入りバットは、2008年11月5日にいただいたとあります。

平成18年度より、毎年、冬のオフの時期に来校してくださり、児童生徒と交流していただいていることとなります。本年度で10回目の来校となります。



キャッチボールを楽しむ高等部生徒



「打ってよ！」トスバッティング



柴原選手を囲んで記念写真（中学部）



柴原選手と「ハイ・タッチ！」（小学部）

小学部児童とは鬼ごっこなどのゲームで交流していただき、中学部・高等部は、キャッチボールやフリーバッティングなどを通して交流していただいています。フリーバッティングでは、やわらかいゴム製のカラーボールを使って、生徒が見える位置から、軽く投げさせていただくなど、児童生徒が楽しめるメニューで交流していただきました。ユニフォームや応援旗、メガホンなどが、いつの間にか準備されているところに柴原選手との交流の歴史を感じました。

握手会では、児童生徒に温かい言葉をかけていただき、児童生徒に『ゆめ』を与えていただきました。柴原選手には、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。ご健康には十分に留意され、今後、ますますのご活躍とご発展を祈念いたします。来年の交流も楽しみにしています。

メリークリスマス！『もぐもぐ』による 楽しいクリスマス公演



テーマソングを歌う『もぐもぐ』の皆さん



サンタさんからのプレゼント

学校通信10号でも紹介させていただきました。『おはなしもぐもぐ』の皆さんによる『みなみのしまのサンタクロース』のシアター、『パペット劇場』など、楽しくゆかいな公演を見せていただきました。一番喜ぶのは小学部かなと思っていましたが、高等部の生徒にも大盛況でした。実際におもしろい。障害の重い軽いに関係なく、みんな、おなかをかかえて笑っていました。総合司会の方は、軽快なトークと笑いを誘う魔法の言葉、元気な笑顔ときれいな歌声、学校の授業もしていただきたいと思うほどすばらしかったです。パペットの方のリズミカルで楽しい踊り、しっかりと息もピッタリ、心もわくわくします。メインの『みなみのしまのサンタクロース』のお話は、キャラクター一人一人の味のある豊かな声と、伸びのあるきれいなナレーションで展開され、楽しいゆかいな時間を過ごすことができました。生演奏の効果音がまたすばらしい。技の達人『おはなしもぐもぐ』の皆さん、本当にありがとうございました。サンタさんのプレゼントにも、子どもたちを「あっと」いわせる仕掛けと演出がありました。児童生徒一人一人にプレゼントまでいただき、感謝申し上げます。最後の最後まで、楽しませていただきました。